

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
広陵町	広陵町立真美ヶ丘第一小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

本校はこれまでも「学校縁で結ばれた学びの共同体」づくりを目指してきた。引き続きPTAや家庭・地域との連携の取組を充実・発展させ、地域や学校の様々な活動を支える人たちの力を結集し、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりの具体的な方策を模索し、実践する。

2 取組の概要

【PTAとのより緊密な連携】

- ◎安全指導ボランティアの活動
- ◎児童用トイレの清掃協力
- ◎芝生でお弁当会
- ◎オータムフェスティバルでの『幾中央生と遊ぼう』等。



『緊急事態発生時の児童引渡し訓練』

【地域との連携】

地域との連携を深める取組として、地域の教育力の活用を積極的に行った。地域の人と一緒に様々な体験をする中で、児童は人々のやさしさや思いやりに気付くことができた。



『お話会』

(週1回学校ボランティア)



『昔の遊び』

(学校ボランティア)



『歯磨き学習』

(学校歯科医)



『被害防止教室』



『交通安全母の会』



『交通安全教室』



『お寺見学』



『靴下工場見学』



『古墳めぐり』（町ボランティア）



『盲導犬と楽しく』
（日本サービスドッグ協会）

幼稚園・保育園との交流



『幼稚園の運動会』



『生活発表会』



『昔遊びの秘伝伝授』

【幾央大学との連携】

近隣の幾央大学とはインターンシップを受け入れたり、本校の多くの児童が学園祭に行ったりするなど以前よりつながりがあった。

そこで、地域との連携の体制づくりの一つとして幾央大学との連携を計画的に実施することにした。



『幾央大生と遊ぼう』



『インターンシップ』